



涅槃図 頼久寺蔵

企画展

「高梁の仏画—涅槃図を中心に」

実作品と写真画像から再発見する地域の文化財

入場無料

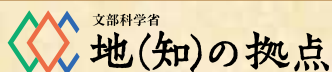
2017年 3月8日(水)~3月19日(日) 開館時間/09:00-17:00 休館日/3月14日(火)

会場 高梁市歴史美術館市民ギャラリー
高梁市文化交流館 2 階 高梁市原田北町 1203-1
tel: (0866) 21-0180

関連 3月11日(土)
行事 ギャラリートーク ① 10:00~ ② 14:00~ 各回約45分

お問い合わせ 吉備国際大学 地域連携センター tel: 0866-22-9050 fax: 0866-22-9407 URL ▶ <http://coc.kiui.ac.jp> E-mail ▶ kiu-coc@kiui.ac.jp

主催/吉備国際大学 共催/高梁市教育委員会 協力/観泉寺 巨福寺 寿覚院 浄明寺 定林寺 松連寺 大福寺 宝妙寺 頼久寺



本事業は、平成25年度 文部科学省地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)に吉備国際大学が「だれもが役割のある活きいきとした地域の創成」というテーマで採択され、支援を受けています。

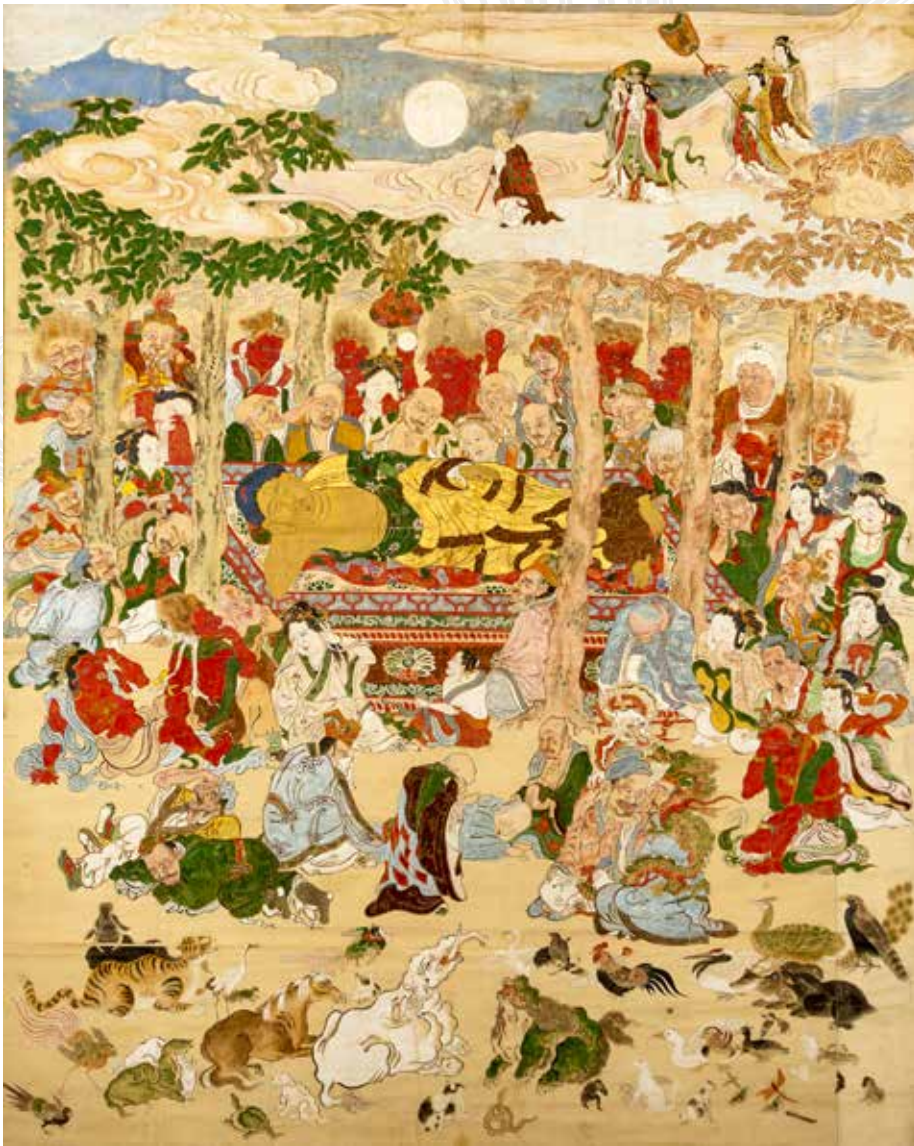
「高梁の仏画—涅槃図を中心に」

実作品と写真画像から再発見する地域の文化財

吉備国際大学は文部科学省が実施する「地(知)の拠点整備事業」に採択されており、文化財学部ではその一環として涅槃図を中心に高梁市の仏画の所在調査を行っています。今回の展観はこの取り組みの中間報告です。

市内には約100軒の仏教寺院が所在しますが、そのほぼ半数が禅宗寺院という特徴があります。うち、臨済宗の名刹・頼久寺には多くの所蔵品が伝来しており、釈迦が亡くなる（入滅する）場面を描いた涅槃図（ねはんず）や歴代住持の肖像画である頂相（ちんぞう）は県下有数の質また量を誇り、優れた文化財と評することができます。今回はお寺の特別のご高配を賜り、その実物を公開する運びとなりました。

あわせて、国や県や市から重要文化財に指定されている仏画と市内諸寺の涅槃図の写真画像を展示し、解説パネルをつけることによって仏画や仏教美術への理解を深め、市内における文化財の保護・保存への気運を一層高めていただく契機となればと企画いたしました。



- 1.涅槃図部分 寿覚院(写真)
- 2.同部分(写真)
- 3.釈迦三尊十六羅漢図(市重文 写真)
浄明寺蔵 桜井雪保・筒井半山合作
- 4.頗久寺十三世 寂宗妙兼頂相(寒作品)

